山岳トイレ技術分野における検討内容と実施状況

表:実施状況と今後の計画(案)

目的	事項	各年事業				
		20年度	2 1年度	22年度		
技術面						
1 選定方法の確立	・未実証技術の実証	新規2件 継続1件の実証試験	試験実施	試験実施		
	・データベースの検討	データベース構築方法の検 討	データベースの試作	データベースの試行		
2 技術の向上	・性能維持に関する実証の検討	経年実証試験の検討	経年実証試験の実施に向けた募集·予備調査の 実施と検証	経年実証試験の実施と検 証		
	·技術改善·導入のための支援体制 の検討	_	アドバイス方法及び体制の検討	アドバイス方法及び体制 の検討		
3 維持管理手法の確 立	・メンテナンスマニュアルの整備	_	マニュアルに関する実証項目の検討	試験において検証		
制度面						
4 参加メリットの向上	·ETV マークの活用	_	ETV マークのメリット(活用法)の検討			
	・実証コストの低減	_	実施体制効率化の検討	実施体制効率化の検討		
		_	試験方法の簡便化の検討	試験方法の簡便化の検討		
	・他の施策との連携	_	環境省事業との連携の検討			
5 情報共有システムの 確立	・山麓、海岸、離島等での整備ニー ズ把握	ニーズ把握アンケート実施	アンケート結果の情報発信			
	・山岳トイレネットワークの確立	メールマガジンを活用した情 報共有	メールマガジンを活用した情報共有	情報発信の継続		
	・研修会、シンポジウムの開催	山岳トイレ技術セミナー実施	研修会の実施(未定)	山岳トイレ技術シンポジウム 開催		

平成20年度山岳トイレWGにおける検討事項と、平成21年度における主な検討内容(案)について、以下に示す。

テーマ	20 年度実施事項	WG 検討事項等	実施状況	21 年度の予定		
技術面						
1.選定方法の確立	データベース構築方法の 検討	・3年計画程度で構築を進める ・まずは簡易版 DB を構築する ・利用者に様々な処理体系の存在を提示	・データベース項目(案)の確認 ・提示方法(案)の確認	・簡易版データベース(案)構築および内容検討 ・自然地域におけるし尿処理手法体系の概要		
2.技術の向上	経年調査手法の検討	・申請者メリットの検討 ・申請者の意向調査 ・予備調査において、申請者と専門家 の合意の場の検討	・ロゴマーク発行 ・実施体系の確認 ・試験要領第6版への反映 ・メーカーの多くは必要性を認識	・経年調査の実施に向けた具体化(22 年度経年調査実施に向けて、募集開始 ~予備調査実施)		
3.維持管理手法 の確立		・環境条件によって同じ技術でも内容 に違いが出る可能性がある		・「日常管理者への取扱説明書」「専門管理者への維持管理要領書」に関する確認項目の検討		
制度面						
4.山岳地以外で の展開	ニーズ調査アンケートの 実施	・自然地域での技術ニーズの発掘を主 眼	・調査実施 ・山岳地以外でも多くのニーズがある ことが確認(約半数は山岳地)	・実証試験候補地としての検討、情報 蓄積 ・実証結果情報等、事業の重点広報対 象		
5.情報共有シス テムの確立	メールマガジンの配信	・本事業の情報に限らず、関連情報を 発信していく	・配信中(現5回)	・メールマガジンの配信の継続		
	山岳トイレ技術セミナー の実施	・事業の普及や技術の PR に重点 ・参考情報として他の事例等情報交換	・実施(2/19-20)	・山岳トイレ技術セミナーの開催を検 討(東京以外での検討)		
事業化						
6.事業化方針の 作成			(経年調査の検討において一部検討)	・実施体制及び試験方法の簡便化の検 討		